

T W C ニュース

2018 年度 秋の遠征ウォーキング

「歴史と文化の街、学び舎の街」

足利市街を歩こう 2018.11.16

TWC 公式年中行事の、秋の遠征ウォーキングは、願ってもない穏やかな晴天の下、24 名の参加を得ておこなわれた。

素敵なバスは定刻 5 分前に参加者全員がそろい、筑波大学を出て常総インターを目指す。そこから圏央道、東北道、北関東自動車道と 3 つの高速道路を進んで、目的地足利には 10 時に到着した。



足利学校：名前だけは知っていたが、その歴史や存在のすばらしさは、ここを訪れてあらためて感得するところ大であった。

たまたま行われていた孔子に関する秋季展示「釈奠」や「元号」をみることができ、貴重な資料を手にすることができた。足利学校をでて、はやめのランチタイム。



全員で同じものを食するのもこの企画の目玉、今回はおしゃれなレストランを貸切状態で豪華な昼食をいただく。おおむね大満足の様子。



今回のツアーの目的はあくまでもウォーキング。レストランを出て向ったのは、初めて名前を聞く「鑑阿寺」。鑑阿寺（ばんなじ）は、源姓足利氏二代目の足利義兼（あしかがよしかね）が、建久 7 年（1196 年）に、邸内に持仏堂（じぶつどう）を建て、守り本尊として大日如来を祀ったのが始まりといわれています。大銀杏や国宝の本殿など見学し、街中約 2 キロ先の織姫神社までがウォーキングのメインコース。



織姫神社へ至る 227 段の階段が、我々を暖かく向かえてくれた。市内を見下ろす高台の神社でひとやすみ、静かなまちを散策しながらバスへもどり、一路バスで筑波を目指し、無事イベントの終了。今回も、実行委員長篠原さん、関本さん、石田さんには多大なお骨折りをいただいた。

（文責、矢部）